



小佐渡東部

再生 目標

トキが野生定着できる自然環境（餌場・営巣・ねぐら）の再生

DATA

エリア：国指定小佐渡東部鳥獣保護区
所在地：新潟県佐渡市
（小佐渡東部地域）
着手：H18

人・トキの共生の島づくり協議会

概要：トキの野生への放鳥を踏まえ、生息環境の整備を行う。トキの餌場となる湿地環境の再生を検討。



トキ保護センターのトキ



マツ枯れや手入れ不足などにより減少する営巣環境



耕作放棄等により減少する水田湿地環境



トキ「優優」

小佐渡東部地域は、野生下で最後までトキが生息していた地域であり、昭和 57 年から国指定鳥獣保護区特別保護地区に指定されています。

しかし、本地域の棚田は農業就労者の高齢化や農法の効率化等により耕作放棄が進み、里山林は生活様式の変化による手入れ不足等で荒廃が進むなど、かつてのトキの餌場・営巣・ねぐら等の生息環境が減少しています。このため、トキの野生復帰に向けて、地域社会との共存を前提とした餌場となる湿地の再生、様々な主体が協働できる仕組みづくりなどの取組みを進めています。

自然再生の手法

- ▶ 通年でトキの餌場となる湿地等の整備→①
- ▶ 地域住民やNPO等の様々な主体が協働する仕組みづくり→②

トキの野生復帰の最重要課題である餌場の確保のため、生息環境の整備を行っています。また、将来にわたる生息環境の保全・維持管理を行うため、様々な主体が協働する仕組みづくりを行っています。



トキの野生復帰エリア

野生復帰の目標：
平成 27 年頃に 60 羽のトキを定着

① トキの餌場となる湿地等の整備

トキ野生復帰のための放鳥に先立ち、餌場環境を確保することを目的に、餌となるドジョウなどの水生生物が生息できる湿地（ビオトープ）を整備しています。また、整備箇所では、湿地生態系の再生状況についてモニタリング等を実施し、その効果を検証しています。



② 地域住民と NPO 等が協働する仕組みづくり

将来にわたるトキの生息環境の保全・維持管理を図るため、地域住民やNPO等の民間団体が連携し、それぞれの活動情報の共有化等により、協働のための仕組みづくりを進めています。

